

主催：公益財団法人中国地域創造研究センター

後援：一般社団法人中国経済連合会

【概要】

公益財団法人中国地域創造研究センターは、2020年11月19日(木)、広島市のホテルセンチュリー21広島において、2020年度 第3回ヘルスケア・医療福祉事業化交流会「最新テクノロジーが拓く予防医療の最前線」を開催しました。本交流会は、ヘルスケア・医療福祉分野への新規参入や新製品・新規事業化につながる出会いの場となることを期待して、この分野の最新情報や大学等における研究シーズを紹介し参加企業とのマッチングを図るものです。

今回は、病気の予防や早期発見に着目し、神戸大学の木村 建次郎 教授からは応用数学上の未解決問題“波動散乱の逆問題”の解決から実現した画期的診断感度を誇る世界初マイクロ波マンモグラフィの開発について、オムロンヘルスケア(株)の來海 雅俊 氏からは家庭用血圧計開発の歴史と脳・心血管イベント予防に向けた取り組みについてご講演いただきました。

【会場風景】

参加者からは、「最先端の技術内容やファンドを活用した事業戦略など大変参考になりました」、「家庭用血圧計の歴史と今後の展望についてよく理解できました」など好評の声を数多くいただきました。

また、呉工業高等専門学校の氷室 貴大 特命准教授、広島国際大学の長嶺 憲太郎 教授および広島大学の秀 道広教授から研究シーズを発表していただき、関心を示された企業に対して、マッチングに向けた事業化検討を進めて参ります。



【日時・会場】

日時：2020年11月19日(木) 13:30~17:00

会場：ホテルセンチュリー21広島 2階 フォルザ (広島市南区的場町 1-1-25)

【参加者】 55名

【プログラム】

- (1) 講演1 「産学連携による世界初のマイクロ波マンモグラフィの実現～応用数学における未解決問題の解決・特許取得から医療機器開発へ～」
神戸大学 数理・データサイエンスセンター 教授
株式会社 Integral Geometry Science 最高戦略企画責任者(CSO) 木村 建次郎 氏
- (2) 講演2 「家庭用血圧計開発の歴史と脳・心血管イベント予防に向けたオムロンヘルスケアの取り組み」
オムロンヘルスケア株式会社 開発統轄本部 本部長付 技術戦略担当(兼)
技術開発統轄部 要素技術開発部 部長 來海 雅俊 氏
- (3) 研究シーズ発表 1
「急性心筋梗塞の診断マーカー(DNA 分解酵素)センシングデバイスの開発～発症早期発見のために～」
呉工業高等専門学校 電気情報工学分野 特命准教授 氷室 貴大 氏
- (4) 研究シーズ発表 2
「口と全身の健康～核酸選択的吸着剤を用いた病原菌の遺伝子検査法の開発～」
広島国際大学 健康科学部 医療栄養学科 教授 長嶺 憲太郎 氏
- (5) 研究シーズ発表 3
「リアルタイム細胞イメージングによるアレルギー・がん診断法の開発」
広島大学大学院 医系科学研究科 皮膚科学 教授 秀 道広 氏



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<https://www.jka-cycle.jp/>